

常任委員会の審査報告

市議会は、12月11日に文教福祉常任委員会、12日に建設経済常任委員会、そして15日に総務常任委員会を開催し、

定例会初日に付託された議案6件、補正予算案4件、請願3件の審査を行い、それぞれ所管事務調査を行いました。

議 案 審 査

◆国民健康保険条例の一部改正
【賛成全員：可決】

健康保険法施行令の一部改正により、出産育児一時金支給額が「39万円」から「40万4千円」に見直されたことに伴い、今回の改正を行うもの。
○ 今回の改正に伴う費用の内訳は、

【国保医療課長】 総額42万円支給しているが、出産一時金としては39万円で、残る3万円は産科医療制度への掛け金しかし、その掛け金が1万6千円に引き下げられたことや、出産費用が増加していることから、総額から1万6千円を差し引いた40万4千円とした。

◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正
【賛成全員：可決】

児童扶養手当法の一部改正により、児童扶養手当を受給している消防団員等が、公務災害に遭い、損害補償に係る年金を受給した場合も、児童扶養手当を受給できるよう改正するもの。

◆廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
【賛成全員：可決】

引用条例名に変更が生じる関係条例について、所要の改正を行うもの。



宅地開発地に新設された新堀切谷第6公園

◆都市公園条例の一部改正
【賛成全員：可決】

新堀切谷に新設された公園を追加するもの。

◆新田辺駅東自転車駐車場の指定管理者の指定
【賛成全員：可決】

条例等に基づき、指定管理者を選定し、指定するもの。
○ これまで同じ団体を指定するものだが、この団体

の特徴は、また、どのような評価を行ったのか。
【建設部参事】 適正な運営が行われているか、財務状況は健全かなどで、利用者アンケートでも評価が高いことや、利便性の向上にヒタパの採用を検討していることなど。

◆道路線の認定
【賛成全員：可決】

新堀切谷及び山手中央に新設された道路を認定するもの。
○ 電柱が道路上ではなく、民地に設置されている理由は、

【施設管理課長】 そつするところで道路幅員を確保し、安全性を高めるよう条例化された。



第二京阪道路の上を横断するように新設された市道

請 願 審 査

◆「実効性がある原子力防災対策の無い下での高浜原発3・4号の再稼働を行わないことを求める意見書」の採択を求める請願
【賛成多数：採択】

○ 原発のある自治体では、原発が稼働していないと経済が止まっている状態だが、どのように考えるか。

【紹介議員】 原発による恩恵があることを理由に移動させず、東日本大震災を教訓に、地震国である日本には必要ないと思う。違った方法でエネルギー問題を考えることで雇用が開けると考える。

○ 国における安全対策に対する見解は。
【参考人】 電力会社の社員は、

安全性は100%にはならな
いと言われたが、この問題の安全確保は100%が最低ラインだと考える。

◆京田辺市の子どものための健康と安全を守り、ゆきとどいな教育を求める請願
【賛成少数：不採択】

○ 30人以下学級とするこのメリットは。
【参考人】 ゆきとどいた教育ができる。他県では不登校の生徒が減ったという事例もある。いじめなどを減らす課題が解消できると考える。

◆枚方市とのごみ焼却広域化問題についての請願

【賛成少数：不採択】

○ 甘南備園の単独改修なら60億円必要であるが、広域化することで40億円と大きな経済効果がある。そして、甘南備園の建て替えが目前にあり、このことで、まず枚方市から建設すべきとはならないと考えるが。

【紹介議員】 現在の枚方市焼却場で焼却することで、負担は軽減する。

○ 枚方市で焼却するといことは、本市が応分の負担をして、委託することか。
【紹介議員】 どれだけの金額になるかの問題はあるが、委託することも可能と考える。

補正予算審査

補正予算の主な内容

一般会計（補正額）
1億1610万円

（民生費）	
・ 自立支援給付費	2019 万円
・ 介護保険特別会計繰出金	1709 万円
・ 保育所管理費	1268 万円
（土木費）	
・ 公共下水道会計繰出金	3302 万円
（教育費）	
・ 小学校教育助成費	1800 万円
・ 幼稚園管理運営費	1080 万円
（公債費）	
・ 利子	－1345 万円

◆後期高齢者健診の健康診査費増額
○ 受診者数が増加している理由は、また、受診費用の負担は。

【国保医療課長】 以前は、特定健診か人間ドックの選択だったが、医師会との話し合いにおいて、対象者全員に案内

【消防車両等購入費の減額】 減額の理由は、また、消防団積載車の装備について、

現場の声を反映しているか。

【消防次長】 化学消防ポンプ車と、消防団積載車2台の入札結果による不要分の減額。現場の声については、今後、精査して検討したい。

◆不妊治療助成事業

○ 府からの助成は10万円が限度。本市は独自に10万円を上乗せするということが、近隣ではどうか。また、市外で受診される市民への助成は、府の助成のみで、独自の助成はしていないと聞く。保険適用分で助成するため、受診する医療機関を問わず、本人の請求により助成が可能である。

◆情報教育提供事業

○ 今回の補正の内容は。
【学校教育課長】 デジタル教科書が、来年度から改訂されることによる準備費用。本事業の効果は、視覚に訴えることで興味を引き、わかりやすく考えを深めることができる。

所管事務調査

○保険財政共同安定化事業

○ 国民健康保険は、各市町村に見合った運営にすべき。
【国保医療課長】 全国規模で統一されたものだが、市町村ごとに異なった保険料や給付などについて、統一化されようとするもの。

○里親制度

○ 里親になりたい人や、里親に出したい人はなかなか相談に行けない。身近な市役所で相談できるようにすべき。

◆年中児発達サポート事業
○ どのように実施しているのか。
【子育て支援課長】 臨床心理士が、公立保育所を巡回して発達相談を行う。

○ 私立保育所や幼稚園へは巡回しないのか。
【子育て支援課長】 今後、検討したい。

【健康福祉部長】 本事業は開始して2～3年で、実績を積んでいる段階である。

◆公共下水道事業

○ 木津川流域下水道維持管理負担金の増額理由は。
【下水道課長】 維持管理の民間委託、電気代等の物価上昇による増額で、各自自治体の利用量で割りあわせたもの。

◆道路使用料

○ 歳入が増加した理由は。
【施設管理課長】 主に同志社山手二丁目の市道におけるガス管、電柱の埋設によるもの。

○景気動向調査

○ 調査後の事業所対応は。
【産業振興課長】 調査結果で厳しい状況が続いていると感じる。今後、中小企業融資利子補給金0・7%の上乗せ継続、成長支援補助として人材確保の支援を行いたい。